



～防犯カメラ設置のすすめ～

施設運営は時として侵入、盗難、破損等の様々な脅威にさらされます。

近年、これらの犯罪は直接的、凶暴化の傾向を見せており、防犯の原則である「人目（死角排除）・音（警報）・光（ライト）・時間（侵入阻止）」を施すだけでは防ぎ切れないケースも増えて来ました。

施設外部の自販機荒らし、車上荒らし、施設破壊にとどまらず、施設内、たとえば貴重品ロッカー荒らし等の発生の可能性も否定出来ません。

これらの脅威に対する措置として、防犯カメラは一定の効果を生み出すものとして注目されています。

設置形態

・簡易型

個人で購入し設置するもの。比較的、安価ではあるが効果は低い場合が多いと思われまます。

・専門業者による設置

警備会社や専門業者により設置されるタイプ。設置場所等、効果的なアドバイスを得られます。

映像はハードディスク等に記録され、必要に応じ警備会社が管理・対応してくれます。

施設が警備会社と契約している場合は、保守契約に組み込み依頼出来るのもメリットです。

・ダミー型

実際には撮影・記録をしていないカメラ。最近は様々なタイプが販売されていますが、その効果はあまり期待出来ないと思われまます。

設置場所

・駐車場

車上荒らし対策。高い位置から俯瞰する位置に設置します。

・施設建物

エントランス、窓、非常口、従業員通用口等、侵入経路となりうる場所に設置します。

・フロント

暴漢対策。フロントカウンター全体からスタッフも含み、ロビー側を撮影します。

・事務所

侵入者対策。金庫等、貴重品保管庫を撮影します。

・ロビー・ショップ

侵入者および盗難対策。ロビー全体が撮影出来る位置、ショップ在庫が撮影出来る位置に設置します。

・その他

施設建物外の自動販売機のコジ開け強盗対策に設置するのも有効です。

その場合は、暗視タイプまたは照明同期が必要になると思われまます。

更衣室はプライバシーの問題があるので、設置しない方が良いと思われまます。

その他

・記録映像は一定期間の保存が必要です。

保存容量はハードディスクの容量によります。映像品質を上げると画質は鮮明になりますが、長時間の録画は難しくなります。映像品質を落とせば録画可能時間は長くなりますが、画質は落ち、必要な情報が得られない場合があります。

設置されているカメラ・記録機器の容量、保存期間を調べ、保存期間のルールを決めましょう。

・防犯カメラは操作する事の出来る管理者を定めましょう。プライバシーにも関連することですので、その管理は厳にすべきでしょう。

費用は掛かりますが、様々な脅威に対する一定の抑止効果を得ることは、これからの施設運営においては必要なコストなのかもしれません。

～気をつけましょうこの季節～

いよいよ春のテニスシーズン到来です。しかし、まだまだ気候も不安定な季節の変わり目であり、新入会員様や新人スタッフも増える時期です。運営、スタッフ研修により慎重を期す必要があります。

<スタッフ・レッスン>

1. 新人スタッフが増える時期です。安全管理、避難誘導についてしっかり研修しましょう。
この時期に全スタッフにあらためて研修するのも良いと思われまます。
2. 季節の変わり目は寒暖の差も大きくなります。レッスン中の水分補給や会員様の体調へのケアについて、コーチに徹底しましょう。
3. 準備体操をしっかりと。暖かくなってきても身体を徐々に慣らしていく事は一年を通じて同じです。
レッスンに遅れて参加のお客様にも必ず体操をしていただきましょう。

<施設>

1. 災害時の緊急避難路や避難場所を確認しましょう。
2. 消化器や消火栓の設置場所を確認しましょう。
3. AEDの設置場所を確認しましょう。またバッテリー・パッドの使用期限も確認しましょう。
4. 救急箱の中身を確認し、足りないものは補充しましょう。
5. 最寄の病院リストを再確認しましょう。

様々なことが新しくなる春です。今一度、基本項目の確認をしましょう！